2020 年６月１日

㈱大田花き　営業本部

本部長　淺沼建夫

切鉢総合市についてのアンケート調査結果

５/２２（金）～２８日（木）の期間で鉢物繁忙期（１１月中旬～１２月　３月中旬～５月中旬の火・木・土競り）以外での月水金総合市開催継続に関してアンケート調査を実施しました。

以下結果とご意見になります。

回答総数：１９７社　賛成１２５社（６３％）　反対４３社（２２％）
どちらでもよい２９社（１５％）
（内無記名回答２５社）

主な賛成意見

・鉢物は胡蝶蘭鉢が表日に買えるので鉢物切り花と一緒だと二度来なくてよいので合理的です。年間通じて月水金総合市でも構わないです。

・園芸品が現状の出荷量、入荷量であれば提案の期間で賛成です。
これ以上鉢物の入荷量が増えると、切花と一緒にセリを見るのが難しくなります。

・現状の月水金同時セリは火木土に余裕が出来るので非常に助かっています。

・切り花・鉢物が一度で揃う、来場回数減り手間が省かれる。本案に賛成です。

・これまで鉢物を御社で購入したことがありませんでしたが、今回の合同競りのおかげで、自然と購入する機会へと繋がりました。その後、在宅セリ、web 相対ともに利用しています。毎日、セリに参加したり、荷物引き取ったりする時間を取ることはなかなか厳しいので、可能な限りまとまると利便性は高いと思います。

・鉢物に力を入れたいので、切花と一緒のほうが買いやすいので継続していただけると助かります。

・鉢物のセリを１レーンでもいいから、７時からやってほしい。

・園芸販売前の見本下見が台車配置が狭くて見難いので、もう少しスペースを取るように改善してほしい。

・切・鉢両方仕入れると予告に登録できる件数が１００軒では少ない。セリ当日０時を回らないと登録できないのは不便。

・伝票が切花・鉢物併せて記載されるのは分かり難い。

・オリーブでの全商品の現物画像掲載を行ってほしい。

・月水は総合市、金は切花、土は園芸市など曜日設定も柔軟になれば総合市の期間を長く出来るかもしれない。

・セリ場端末でセリ時にお知らせ登録をしている商品が出てくるときにお知らせ音声を出してほしい。スマホのアプリで登録番号を入力すれば先行登録・お知らせ登録を簡単に出来るようにしてほしい。

・オリーブでの本日の入荷情報は切鉢一緒に羅列されているため見にくい。例えば品種表記の頭に『ハチ』などを表記するなどして、鉢物・切花を分かり易く区別してほしい。

・切花市の後で鉢物競りを開始するとそれぞれに集中できるのでいい。

・働く社員の方が効率的になるのであれば賛成いたします。

・切花のセリ数量が少なくならないことが条件。

主な反対意見

・同時開市だとセリ中が忙しい。また、一度に積む量が多くなり車に乗せきれないことがある。また北側施設に取りに行くのも面倒。

・月水金の鉢物市の場合、品質の劣化が気になる。荷受からの時間が長いためか水切れが早いのでは？尚且つ慣れていないので切花と鉢物を一緒にセリ落とすのが難しい。

・【土曜日のみ単独園芸市開催】火・木入荷分は水・金【総合市】【月曜日は切花市のみ】が要望です。

・年間通して同じであれば賛成ですが、期間限定だとまぎらわしい。仕入日で予定を立てて注文や納品を行なう時があるので。

・月曜日セリ分の品物は実質土曜セリ分から、品物の鮮度が低く感じます。

・切花の荷量が多い時は切鉢ともに分荷が遅くなり、引取りに支障を来すのでは。
特に７・８・９月の切花繁忙期が懸念されます。

・鉢物閑散期の 1～２月、７～8 月限定なら場内での混乱などを避けられるのでは。

・切鉢とバイヤーを分けて仕入を行っているため、同日開催だと 2 名でセリ参加するため、お店を開けられない。自社の都合だが苦慮しています。

・セリ参加者の車両積載限界による価格の低下や商品の市場滞在長期化による品質低下を織り込んだセリ価格の低下がデメリットとして考えられる。

・買上データが切・鉢一緒になってしまい分かり難い、また相対とセリでデータの反映時間が違いすぎ。

・人が月水金に集中する方がコロナ対策としてはリスクが高いのでは？

大田花きとして

・月曜市販売の商品品質に関して、ご指摘が多数ありました。

現在集荷体制の見直しを図っており、商品品質を落とさない対策を進めております。

・鉢物競り開始時刻については買参人様のご意見を伺いながら、今後ご相談もさせていただき進めてまいります。

・購入商品の置き場やお引取に関しては時期や入荷数量を鑑みて全体最適となるよう、またお客様の利便性が高まる様に工夫と改善に努めてまいります。

他にも多くの貴重なご意見をいただきましたので、弊社として真摯に受け止め、別途協議の上、改善に向けて、社員一同鋭意努力してまいります。

以上